



次世代

林業マイスター、 養成します。

全12日間
48,000円

林業をとりまく環境が、どんどん変化しています。
変わること、変わらないこと。いろいろありますが、
確実な投資は人を育てることではないでしょうか。
鹿児島大学でいっしょに学びませんか？

日時

2020年7月15日から10月30日まで
(2泊3日×4回)

場所

鹿児島大学 農学部附属 演習林
(鹿児島県 垂水市 海潟3237)

定員

12名



情報の選択・活用は最大の武器。 参加者、講師(実践者・研究者) から互いに学びあえる研修会です。

●目的

主伐期を迎えた素材生産業では、現場を総合的に把握し、持続的に仕事を実行できる人が必要です。当研修では、安全と環境に配慮しながら、生産・再造林のコスト縮減、ICT技術や施業集約化、事業体のヒト・モノ・カネのマネジメントを理解できる、そんな現場人を育てます。

●対象者

素材生産事業の生産管理者およびその候補者。
作業実施者の中から監理者としてステップアップを考えている方など。

●受講期間等

2020年7月から10月まで。合計80時間

場所 主に鹿児島大学 演習林(宿泊所完備)

受講料 48,000円(テキスト代等) ※ほかに宿泊食事実費

申込期限 令和2年5月28日(木)

	実施日	科目	主な内容
第1回	7月15日(水) ～17日(金)	A. 木材利用の潮流 B. ICT林業	木材の加工、流通、利用の最前線。 ICTを使うと林業はこうなる。
第2回	7月29日(水) ～31日(金)	C. 主伐と再造林の課題 D. 素材生産業の社会的責任	再造林を妨げるものを克服しよう。 責任を果たすために必要なことは？
第3回	10月7日(水) ～9日(金)	E. 施業集約化 F. 事業体会計	集約化の勘どころを演習でつかむ。 事業体のお金の巡りが見えるように。
第4回	10月28日(水) ～30日(金)	G. 総合演習	林業・木材産業見学旅行(九州内) 総合討論(農学部キャンパスにて)
	全12日間	合計80時間	

【注意】なお、新型コロナウイルスの今後の状況によって、
内容を変更する可能性がありますことを、あらかじめご了承ください。

【お問い合わせ】 鹿児島大学農学部附属演習林 電話：0994-32-6329
〒891-2101 鹿児島県垂水市海潟3237 mail：ashihara●agri.kagoshima-u.ac.jp
【プログラムの専用ページ】 <http://https://ace1.agri.kagoshima-u.ac.jp/ringyo/>